

令和元（2019）年12月18日  
事務連絡

各 位

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
(公印省略)

【再送】令和元（2019）年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業  
多職種研修会の開催について（ご依頼）

記

件名につきまして、先日の送付物にアンケート用紙が含まれておりませんでした。  
再送致しますので、お取り計らい下さいますようよろしくお願い致します。

沖医ソデ第19-12号  
令和元（2019）年12月16日

病院長様

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
(公印省略)

令和元（2019）年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業  
多職種研修会の開催について（ご依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より地域包括ケアシステムの推進にご協力頂き感謝申し上げます。

本県では、各市町村又は圏域で取り組みが進んでおります入退院支援につきまして、圏域レベルあるいは全県的に共有すべき「入退院調整に係る基本指針策定」を目指しております。

本研修会は、地域包括ケアシステムの中心的施設である老人保健施設における病院・地域との協働について学ぶことを目的として開催致します。

つきましては、貴院職員のご参加につきまして、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 日 時 : 令和2（2020）年01月16日（木）14:00～17:00  
(13:30～受付)

2 場 所 : まりりんぎのわん 宜野湾マリン支援センター 2階 会議室（大・中）  
〒901-2223 宜野湾市大山7-10-27、電話：942-2200

3 対 象 : 

- ・介護老人保健施設の支援相談員及び看護師等
- ・医療ソーシャルワーカー及び退院調整看護師等
- ・その他関係職種

4 内 容 : 別紙

5 その他 : 同封の別紙「事前アンケート」「出欠回答票」を記載の上、12月27日（金）までに下記のファックスまたはメール添付にてご提出をお願い致します。

6 お問い合わせ先 : 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口 美智子  
電話/FAX: 098-893-1221 (直通)  
E-mail : m.higuchi@okiu.ac.jp

沖医ソデ第19-12号  
令和元（2019）年12月16日

医療福祉相談室・地域医療連携室  
医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師 各位

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
(公印省略)

令和元（2019）年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業  
多職種研修会の開催について（ご案内）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より地域包括ケアシステムの推進にご協力頂き感謝申し上げます。

本県では、各市町村又は圏域で取り組みが進んでおります入退院支援につきまして、圏域レベルあるいは全県的に共有すべき「入退院調整に係る基本指針策定」を目指しております。

本研修会は、地域包括ケアシステムの中心的施設である老人保健施設における病院・地域との協働について学ぶことを目的として開催致します。

つきましては、業務多忙とは存じますが、ご参加をお願い申し上げます。

お手数ではございますが、出欠の可否につきまして、別紙の事前アンケート（様式1）及び出欠回答票（別紙1）でご連絡をお願い致します。

なお、当日は『平成29年度 沖縄県入退院支援連携デザイン ガイドライン』（各医療機関・市町村・関係機関に配布済み）をご持参ください。

記

1 日 時 : 令和2（2020）年01月16日（木）14:00～17:00  
( 13:30～受付 )

2 場 所 : まりりんぎのわん 宜野湾マリン支援センター 2階 会議室 大・中  
〒901-2223 宜野湾市大山7-10-27、電話：942-2200

3 対 象 : 

- ・介護老人保健施設の支援相談員及び看護師等
- ・医療ソーシャルワーカー及び退院調整看護師等
- ・その他関係職種

4 内 容 : 別紙

5 その他 : 同封の別紙「（様式1）事前アンケート」「（別紙1）出欠回答票」を記載の上、  
12月27日（金）までに下記のファックスまたはメール添付にてご提出をお願い致します。

6 アンケート提出先及びお問い合わせ先 :  
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口 美智子  
電話/FAX：098-893-1221（直通）  
E-mail : m.higuchi@okiu.ac.jp

## 2019（令和元）年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業

### ＜多職種研修＞

「地域包括ケアシステムにおける介護老人保健施設の役割

～機能の違いによる病院・地域との協働～」要綱

#### 1. 開催趣旨

- ・介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、住み慣れた家庭や地域への復帰を目指すための施設である。在宅ケア支援や看取り介護への支援の役割も担う、地域包括ケアシステムの中心的施設としての役割は重要である。本研修会は、介護老人保健施設の役割を理解し、入退所時・入退院時における支援・連携に必要な知識・技能の習得を目的とする。
- ・「沖縄県介護老人保健施設協議会」と協力し開催する。

#### 2. 主催

- ・沖縄県高齢者福祉介護課
- ・一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

#### 3. テーマ

- ・「地域包括ケアシステムにおける老人保健施設の役割  
～機能の違いによる病院・地域との協働～」（多職種研修）

#### 4. 期日

- ・2020（令和2）年01月16日（木）14：00～17：00（13：30～受付）

#### 5. 会場

- ・まりりんぎのわん 宜野湾マリン支援センター 2階 会議室 大・中  
〒901-2223 宜野湾市大山7-10-27、電話：942-2200

#### 6. 対象

- ・介護老人保健施設の支援相談員及び看護師等
- ・医療ソーシャルワーカー及び退院調整看護師等
- ・その他関係職種

#### 7. 参加費

- ・なし

※当日は『平成29年度 沖縄県入退院支援連携デザイン ガイドライン』

（各医療機関・市町村・関係機関に配布済み）をご持参ください。

## 8. プログラム

13:30～受付

14:00～開会挨拶 (沖縄県高齢者福祉介護課)

14:10～沖縄県入退院支援連携デザイン事業

「入退院支援連携に関する基本指針案について」 (沖縄県高齢者福祉介護課)

14:50～休憩

15:00～地域包括ケアシステムにおける介護老人保健施設の役割

講師：中本雅彦氏 (高知県医療ソーシャルワーカー協会会长、  
介護老人保健施設リゾートヒルやわらぎ)

16:00～介護老人保健施設における地域連携 (ワールドカフェ)

16:50～閉会挨拶 (沖縄県医療ソーシャルワーカー協会)

アンケート記載

17:00～終了

## 9. お申込み・お問い合わせ先

・参加申込締め切り：

同封の別紙「(様式1) 事前アンケート」「(別紙1) 出欠回答票」を記載の上、  
12月27日(金)までに下記のファックスまたはメール添付にてご提出をお願い致します。

・お問い合わせ先

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口美智子

TEL/FAX：098-893-1221 (直通)

E-mail : **m.higuchi@okiu.ac.jp**

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口美智子 行

FAX: 098-893-1221

メール: m.higuchi@okiu.ac.jp

2020年01月16日(木)開催

令和元(2019)年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業

「多職種研修<老人保健施設と医療機関等>」へのご参加について

ご参加者

勤務先／部署	職種	氏名
		様
		様

ご連絡先

電話:	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅
メール:	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅

12月27日(金)までに一般社団法人医療ソーシャルワーカー協会宛てに  
ファックス(098-893-1221)またはメール(m.higuchi@okiu.ac.jp)  
にてご回答をお願いいたします。

## (様式1) 事前アンケート

宛先 : 一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会  
E-mail : m.higuchi@okiu.ac.jp  
FAX : 098-893-1221

令和元（2019）年度 入退院支援連携デザイン事業  
「地域包括ケアシステムにおける介護老人保健施設の役割  
～機能の違いによる病院・地域との協働～」

記載月日 : 20 年 月 日

施設名 : \_\_\_\_\_

回答者 : 部署 : \_\_\_\_\_ 氏名 : \_\_\_\_\_

連絡先 : 電話 : \_\_\_\_\_ E-mail : \_\_\_\_\_

### ※貴施設での入退所・入退院時の情報共有の課題について :

#### 設問1：病院に関する課題と対応策についてお答えください。

Q1：地域の病院間で入退院支援の実施状況や連携の状況に差がある。

差がある  差がない

Q2：病院の医療職が、在宅での療養生活や介護保険制度の利用方法・サービス内容、介護関係者の視点等を理解した上で支援・連携を行えていないことが多い。

行えている  行えていない

Q3：病院職員が、患者・家族に対して、退院後の療養生活の意向に関する丁寧な確認や、患者の立場に立ったわかりやすい病状及び具体的な退院後の療養像（在宅療養のイメージ）の説明ができていないことがある。

説明できている  説明できていない

Q4：病院内の病棟の職員と地域医療連携室等のMSWの間で、患者・家族の意向や居宅介護支援事業所のケアマネジャーから提供された情報が共有されていないことがある。

共有されている  共有されていない

**設問2：介護老人保健施設に関する課題と対応策についてお答えください。**

Q5：病院の医療職に対して心理的な距離があり、コミュニケーションをとることに抵抗感を示す支援相談員がいる。

- いる  いない

Q6：病院の機能や医療職がどのような役割を果たしているかの把握が十分ではない支援相談員がいる。

- いる  いない

Q7：ケアプラン作成や医療職との接し方について、支援相談員ごとの力量差が大きいことがある。

- 差が大きい  差は小さい

**設問3：その他連携に関する課題と対応策についてお答えください。**

Q8：患者・利用者が病院の機能分化や介護保険サービスの利用方法・内容を理解しておらず、退院後の生活や在宅療養のイメージが持てていないことが多い。

- 持てていない  持てている

Q9：貴圏域の医療・介護連携を進めていく上での協働体制についてお答えください。

- 地域で医療・介護関係者が連携について協議する協議体がある
- 地域で中核的な役割を果たしている公立病院がある
- 地域に医療・介護連携についてリーダーシップを発揮している病院がある
- 地域に医療・介護連携についてリーダーシップを発揮している医療・介護関係者がいる
- 地域に医療・介護連携について協力的な職能団体がある（在宅医療・介護連携推進事業等を利用して取り組みに協力できる職能団体がある）
- 保健所は医療・介護連携について協力的である

※ありがとうございました。メール添付またはファックスにてご提出ください。  
送信票は不要です。

**※回答締め切り　：　2019年　12　月　27　日（金）**